

2026 年 7 月 17 日

株式会社NANKAI

株式会社東京流通センター

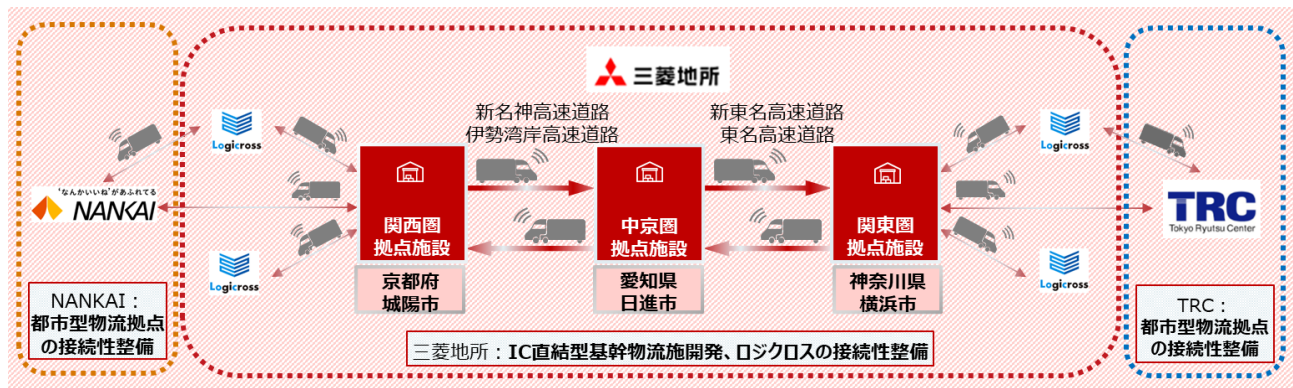
三菱地所株式会社

～NANKAI・東京流通センター・三菱地所が物流効率化に向けて基本合意～

自動運転トラック等の次世代モビリティを活用した 物流施設間連携の共同検討を開始

株式会社NANKAI（大阪市浪速区、代表取締役社長 岡嶋 信行、以下「NANKAI」）、株式会社東京流通センター（東京都大田区、代表取締役社長 有森 鉄治、以下「TRC」）、三菱地所株式会社（東京都千代田区、代表執行役 執行役社長 中島 篤、以下「三菱地所」）は、2026 年 7 月 13 日、幹線輸送とラストマイル輸送の接続効率を高めることによる、物流の効率化に向けた共同検討に着手することと合意しました。

NANKAI と TRC は 2025 年 4 月に業務提携契約を締結しておりますが（[参考リリース](#)）、新たに三菱地所が共同検討に加わることで、NANKAI が保有する東大阪・北大阪流通センターおよび TRC が保有する大田区平和島の物流施設といった東西の都市型物流拠点と、三菱地所が「ロジクロス」シリーズとして展開する物流施設および開発中の高速道路 IC 直結の「次世代基幹物流施設」等が連携することによる、主要都市圏を結ぶ強靱かつ持続可能な物流ネットワークの実現を目指します。



NANKAI および TRC の物流拠点は、高度経済成長期の物流課題解決に向け、それぞれ関西圏・関東圏の交通要衝に整備され、半世紀以上にわたり日本の物流機能を支えてきました。

昨今では、EC 市場の拡大等により物流件数は増加の一途をたどる中、トラックドライバー不足や庫内労働者不足が深刻化しており、物流機能の停滞・分断といったリスクも顕在化しつつあります。こうした課題解決に向けた取り組みの一環として、三菱地所では、幹線輸送の効率化を担う自動運転トラック等の次世代モビリティに対応した「次世代基幹物流施設」の開発を進めています。

本合意において 3 社は、三菱地所が関東圏（神奈川県横浜市）・中部圏（愛知県日進市）・関西圏（京都府城陽市）の三大都市圏で計画する次世代基幹物流施設を“幹線輸送の起点・着点（メインハブ）”、“ロジクロス”シリーズを“サブハブ”とし、NANKAI および TRC の都市型物流拠点を“幹線輸送とラストマイル輸送をつなぐ中継地点”と位置づけ、それら施設間の接続効率を最大化すべく、共同検討や実証実験に取り組んでまいります。

3 社は連携して物流効率化に取り組み、各拠点の接続性を高めることで、社会課題の解決に寄与する強靱かつ持続可能な物流ネットワークの構築を実現してまいります。

■株式会社NANKAI 上席執行役員不動産事業本部長 西原啓介のコメント

当社の東大阪・北大阪流通センターは、高度経済成長期に生じた流通機能や都市機能の低下という社会課題を解決するため、都市周辺部の交通要衝地に整備されました。今後も両流通センターのさらなる競争力向上と、サステナブルな公共交通の経営に向けて、経営資源を投入したいと考えています。現在、北大阪流通センターでは再開発を進めており、利便性の高い立地で、公共性の高いトラックターミナル機能を堅持しつつ、配送センター等の物流施設を集積することにより、関西圏におけるトップクラスの物流最適地になることを目指しています。中でも、自動運転トラック等次世代モビリティの拠点となることは、当社両流通センターのポテンシャルをさらに引き上げるものであり、既に業務提携を締結する東京流通センター様に加え、新たに三菱地所様とも共同で検討を行うことにより、様々な取り組みがより加速するものと考えております。当社はこれらの取り組みを通じ、今後も日本の物流を支える社会インフラとしての機能を果たしたいと考えています。

■株式会社東京流通センター 専務取締役 荒木康至のコメント

当社は 1967 年の設立以来、首都圏の物流を支える社会インフラとして、都心部の交通渋滞に起因し悪化した流通事情の改善といった社会課題の解決を使命に歩んでまいりました。この度、2025 年 4 月に締結した NANKAI 様との業務提携の枠組みをさらに進化させ、新たに三菱地所様を迎えて 3 社での共同検討を開始できることを大変嬉しく思います。三菱地所様が展開する高速道路 IC 直結の「次世代基幹物流施設」を幹線輸送のメインハブとし、NANKAI 様の関西圏における都市型拠点、および当社の平和島の拠点をラストマイルへとつなぐ中継地点と位置づけることで、これまでにない強靱で持続可能な主要都市圏間の物流ネットワークが実現します。NANKAI 様、三菱地所様、当社の 3 社の強力なシナジー、ならびに当社が半世紀以上にわたり培ってきた都市型物流の知見と立地ポテンシャル等を最大限に活用し、深刻化するドライバー不足や物流コスト増大という極めて重要な社会課題の解決に向け、検討推進してまいります。

■三菱地所株式会社 物流施設事業部長 吉竹宏樹のコメント

このたび、NANKAI 様および東京流通センター様がこれまで培われてきた都市型物流拠点の強みと、当社が推進する「次世代基幹物流施設」および「ロジクロス」シリーズを組み合わせた 3 社連携による取り組みに参画できることを大変意義深く感じております。

本共同検討では、自動運転トラックなどの次世代モビリティの活用も見据えながら、幹線輸送とラストマイル輸送を有機的につなぐ物流ネットワークの実現を通じて、物流効率の向上と持続可能な社会の実現に貢献できるものと期待しております。

今後は、3 社それぞれの拠点と機能を連携させるとともに、輸送・保管・荷役の各プロセスにおける効率化施策や先進技術の導入を推進し、強靱かつ持続可能な物流インフラの構築と、物流業界が直面する人手不足や生産性向上といった社会課題の解決に資する新たな価値創造に取り組んでまいります。

【関連リリース】

<NANKAI・TRC>

- ① 2025 年 4 月 30 日付 南海電鉄と東京流通センターが業務提携契約を締結

<https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/250430.pdf>

<三菱地所>

- ② 2022 年 2 月 3 日付 日本初、高速道路 IC 直結「次世代基幹物流施設」開発計画始動（京都府城陽市）

https://www.mec.co.jp/news/archives/mec220203_logicross.pdf

- ③ 2023 年 6 月 30 日付 自動運転トラックの物流ネットワーク構築へ

https://www.mec.co.jp/news/detail/2023/06/30_mec230630_t2

- ④ 2024 年 6 月 7 日付 東北圏初、高速道路 IC 直結「次世代基幹物流施設」開発計画始動（宮城県仙台市）

https://www.mec.co.jp/news/detail/2024/06/07_mec240607_logi

- ⑤ 2025 年 8 月 19 日付 関東圏初、高速道路 IC 直結「次世代基幹物流施設」開発計画始動（神奈川県横浜市）

https://www.mec.co.jp/news/detail/2025/08/19_mec250819_logi

<TRC>

- ⑥ 2026 年 6 月 15 日付 TRC 東京流通センター拠点「平和島自動運転協議会」第六次参画企業・団体決定

https://www.trc-inc.co.jp/wp-content/uploads/2026/06/20260615_trc-kyougikai6.pdf

以 上